

兵庫で働こう・育てよう・かなえよう!

# ひょうご 地域創生通信

そこにしかないものからの展開



## ひょうごでかなえよう! プロジェクト

【CASE】関西学院大学朝来サテライトスタジオ  
—八木研究室—

学生らしい斬新な発想と専門知識を駆使し  
竹田城跡に頼らない観光まちづくりを提案

平成30年度  
地域創生に関する主な施策

## ひょうごで働こう! プロジェクト

【CASE】ミツ精機(株)

航空・宇宙機器部品を手掛ける  
高度な技術力を誇る職人集団

【CASE】音羽電機工業(株)

雷対策一筋70余年、  
国内唯一の雷対策専門メーカー

# ひょうごでかなえよう！ プロジェクト

ひょうごで  
働こう！  
プロジェクト

ひょうごで  
育てよう！  
プロジェクト

ひょうごで  
かなえよう！  
プロジェクト

多彩な地域資源を生かした観光振興、若者等の起業、`攻めの農業`の展開など、あらゆる人が夢をかなえ、活躍できるような元気な地域づくりを進めています。

取り組んでいます

CASE

## 学生らしい斬新な発想と専門知識を駆使し 竹田城跡に頼らない観光まちづくりを提案



関西学院大学  
朝来サテライト  
スタジオ  
-八木研究室-

サテライトスタジオに集まった地域の人たちと一緒に。手前は学生たちが地区の建物を一軒ずつ撮影し、CADで図面に起こして100分の1スケールで再現した手作りの模型。

雲海に浮かぶ幻想的な姿が`天空の城`としてメディアなどで取り上げられたことで、兵庫を代表する人気観光地となった竹田城跡。標高353mの山頂に広がる城跡は平成25年ごろから観光客が急増したものの、麓の朝来市竹田地区に立ち寄る人は少なく、恩恵を受けることはほとんどありませんでした。

その竹田地区の観光まちづくりに一役買っているのが、関西学院大学総合政策学部の八木康夫教授の研究室です。きっかけは、27年に始まった城跡と周辺の観光振興を考える朝来市のピ

ジョン会議に八木教授が委員として参加したことでした。昨年5月には、県の補助金を活用し、地区内の閉園した保育園を改装して拠点となる関西学院大学朝来サテライトスタジオを開設。その設計は建築の設計や計画を専門とする八木研究室が手掛け、工事期間中は大学院生が現場監督として毎日通ったといいます。

拠点完成後、ゼミ生らが竹田地区に通う回数は増え、「竹田城跡に頼らない観光まちづくり」のプラン立案に向けて取り組みは本格化します。まずは

地元の人たちの考えを知ろうと、地区の全住民を対象にアンケート調査を実施。また、カメラやスケッチブックを手に地域の魅力を探し歩いたり、地元の

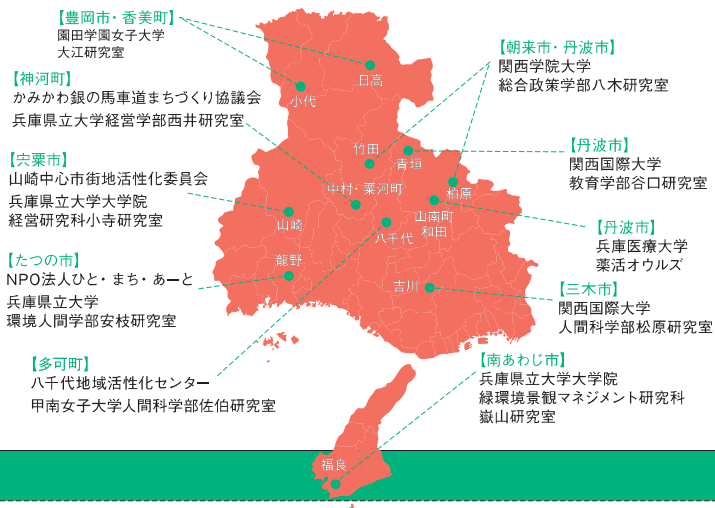


「朝6時に撮影されたものが最も多く、夜は2枚だけ」など、過去10年分の朝来に関連する1,032枚のSNS投稿写真の分析結果の発表には大きな関心が寄せられました。

# 大学等との連携による 地域創生拠点形成支援事業

県内にある大学・大学院の研究室と地域やNPO等が地域活性化に向けて、拠点システムを整備し長期的に活動に取り組む際に、その改修費や活動経費を補助しています。

図 県地域交流室 ☎078-362-4314



人から話を聞いて回ったりと情報収集に奔走し、どこにどのような機能を持たせていくか、検討を重ねていきました。

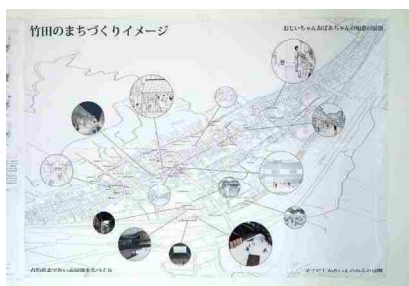
そして2月12日、地域の人をサテライトスタジオに招き、練り上げたプランを発表しました。「まち全体を旅館に見立て、空き家の古民家を宿泊所に改修する」「水路に舟を浮かべてレストランにする」など次々と披露される斬新なプランや根拠となる調査結果に、聴衆の表情も真剣味を帯びていきます。やがて、地域の人からも発言が相次ぎ、会場は意見交換会へと変化。「実現可能なも



ゼミ生たちが設計し作成した観光拠点となる施設の模型。山並みや雲海をイメージし、木工体験ができる工房を備えています。

のから、役割分担し実行したら盛り上がるのでは」「竹田のことをこんなに思ってくれて本当にうれしい。行動で恩返ししていきたい」といった声が地域の人から寄せられました。

「今後、地元の方たちの手で実行していく体制をつくり、提案を形にしていければ。その意味でも、サテライトを地区の皆さんにもっと活用してもらえる場所にしていきたいと思います」と八木教授。新年度からは具体化に向け、新たなステップに入ります。



立案したまちづくりのイメージ

## ●学生の声



3年生  
堀之内信さん

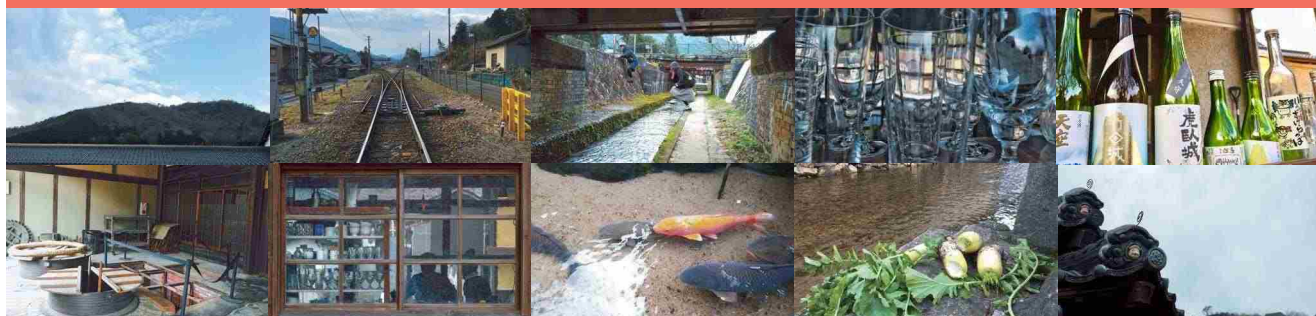
大阪出身なので竹田地区がどんな所かイメージが湧きませんでした。古い町並みが残る地域資源を全国に発信していきたいと思うようになりました。私たちのグループが考えたのは、廃線跡に使われなくなった車両を置いて中をレストランに改装したり、毎回異なるフードトラックを呼んだりすることです。実際に案が採用されるかもしれないという状況はモチベーションが上がり、楽しんで活動させてもらっています。



3年生  
龍本雄大さん

「竹田城跡に頼らない観光を目指す」と聞いた時、本当にできるのかと不安がありました。でも、実際にまちを歩いてみると瓦屋根の木造建築が続く景観はとても美しく、情報の広げ方次第で観光客を呼び寄せられる所だと思うように。学生ならではの意見として今までにないようなものが展開できればいいですね。この貴重な経験は自分の将来にもきっと生きるはずなので、活動が本格化するのを楽しみます。

## 学生たちが撮影した竹田地区



# ひょうごで働こう！ プロジェクト

ひょうごで  
働こう！  
プロジェクト

ひょうごで  
育てよう！  
プロジェクト

ひょうごで  
かなえよう！  
プロジェクト

県内には優れた技術を持つものづくり企業や従業員に優しい職場など、魅力ある企業が立地。一人でも多くの若者が県内で就職し生き生きと働けるよう、さまざまな事業を展開しています。

## ひょうごオンリーワン企業

優れた技術やノウハウで国内外から高い評価を受けている中小企業を認定・顕彰しています。現在、16社を認定しています。

兵庫県産業政策課 ☎078-362-3342

✓ CHECK! /

認定企業の一覧と各社トップからのメッセージなどをホームページで公開しています。

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr02/onlyone\\_k.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr02/onlyone_k.html)

認定されました！

CASE

## 航空・宇宙機器部品を手掛ける高度な技術力を誇る職人集団



若手技術者も多数活躍しています。



100台を超える最新工作機械がフル稼働しています。

来客用の駐車場に車を止めると、目に飛び込んでくる自衛隊のヘリコプターや戦闘機の数々。淡路市にあるミツ精機(株)は、航空・宇宙機器部品や医療機器部品の機械加工を得意とする会社です。

かつての主力製品は、産業用ニット編み機の部品。部品点数が多い上に大半が企業ごとにカスタマイズされているため、高い精度に加えてきめ細かい

対応が求められました。その精密加工技術が評価され、昭和54年からは航空機の部品加工を開始。実績を積み重ねることでジェットエンジンなど、より重要なパーツを任されるようになりました。

扱うのは、生産ロットが少なく、切削加工が難しい素材ばかり。部品の形状が複雑な上に、ミクロン単位の精度を求められます。しかし、「これはむしろチャンス！」と捉えて技術開発に取り組んだ結果、近年は人工衛星用の極めて精密な部品加工も受託しています。今では売上高の80%以上を航空機関連部品が占め、航空機製造メーカーのパートナーとして、なくてはならない存在となっています。



敷地内には自衛隊から貸与された実機が展示されています。

### ●Uターン社員の声



総務部  
小川隆史さん

大阪工業大学工学部への進学を機に、4歳から暮らしていた洲本市を離れました。就職活動では最初、技術職を志望していたのですが、ある会社の採用担当者との出会い、「こんな人と働きたい」と思いました。そんな「人事の力」に魅了された時に大学の就職部から紹介された故郷・淡路島にあるミツ精機の募集職種が総務職だったので、「いずれ人事部に携われるかも」と応募し、入社。3年目に念願の採用業務を任せられました。

自分を育ててくれた地元で働き、地域に貢献する。そんな働く喜びを感じられるのは、Uターン就職したからこそだと思います。今後の目標は、ミツ精機を今以上に社員が自信を持って家族に薦められる会社にする。人事の仕事を通じて少しでも貢献できればと思っています。

### ふるさとで働く魅力

普段は静かな環境でゆったりと暮らしながら、神戸など都市部にもすぐ遊びに行けるアクセスの良さ。淡路島は山海の幸が豊富で食べ物おいしいのはもちろんですが、環境と利便性が両立している点が魅力ですね。

### ミツ精機(株)

淡路市下河合301 ☎0799-85-1133

事業内容/航空・宇宙機器部品の機械加工(ジェットエンジン部品、脚部品、人工衛星の部品)、医療機器部品・その他精密部品等の機械加工およびアッセンブリー

## 雷対策一筋70余年、国内唯一の雷対策専門メーカー



22万アンペアの直撃雷を発生させることができる、世界最大級の雷電流発生装置。



高電圧試験設備での放電実験の様子。雷の電圧を模擬的に再現し、得られたデータを製品開発などに生かしています。



パソコンや家電製品を雷被害から守る商品も多数開発。身近な所で活躍しています。

高度情報化社会の進展により、私たちの生活は便利で快適になりました。しかし、その利便性と引き換えに、ネットワークで結ばれた社会の脆弱性が指摘されています。その一つが、落雷被害。例えばビルの近くに雷が落ちた場合、「雷サージ」と呼ばれる異常電圧が通信ケーブルなどからオフィス内に侵入し、パソコンをはじめとした情報通信システムが被害を受けるリスクがあるのです。

そこで必要となるのが雷対策。尼崎市に拠点を置く音羽電機工業(株)は、日本で唯一の雷対策専門メーカーとして70余年の歴史を重ねてきました。主力製品の避雷器※1は、電柱をはじめ、携帯電話基地局、新幹線、清水寺、精密

機械工場、オフィスビルなど、世の中のあらゆる場所に設置されています。

同社の強みは、避雷器の心臓部に当たる酸化亜鉛素子※2の研究開発から避雷器の開発・製造・販売、雷防護対策のコンサルティング、電気工事一式まで、雷対策に関わる事業を一貫して手掛けている点です。また、人工的に雷を発生させる世界最大級の雷電流発生装置を筆頭に、製品開発試験用の実験装置を取りそろえているのも大きな特徴。国産小型ジェット旅客機「MRJ」をはじめ、外部からの耐雷試験を引き受けるなど、幅広い方法で雷被害から社会や人命を守っています。



雷専門試験施設の「雷テクノロジーセンター」には、雷グッズが豊富にそろった「雷ミュージアム」も。

※1: 落雷による雷サージから機器を守る装置。音羽電機工業では雷サージの種類や電圧の違いなど各種の状況に応じた避雷器を扱っています

※2: 避雷器に組み込まれている特殊素材。雷サージから機器を保護する電気的特性を持っています

### ●Uターンの声



技術部  
谷垣昌志さん

丹波市春日町で生まれ育ち、香川大学工学部材料創造工学科に進学。学部と大学院で学んだ後、関西を中心に就職活動をしました。世の中の役に立つ製品を作り多くの人を幸せにしたいという思いから、素材メーカーが候補に挙がりました。音羽電機工業に着目した理由も「素材」で、酸化亜鉛素子の研究開発まで自社で行っている点に魅力を感じました。

技術部の仕事は、設計から試作、試験、組み立て、営業まで多岐にわたります。入社後、図面の変更作業などを経て、部品の設計や評価試験を任されるようになりました。また、雷を模擬的に発生させて性能テストを行う世界最大級の装置などを案内する見学ツアーのオペレーターも担当しています。今後、避雷器以外の知識も身に付け、社会に役立つ製品をさらに手掛けていきたいです。

### ふるさどで働く魅力

兵庫県は製造品出荷額が全国上位を占めるなど、製造業が集積している都道府県の一つです。それは、会社の選択肢が多いということ。その意味でも、兵庫県にUターン就職するメリットは大きいと思います。

### 音羽電機工業(株)

尼崎市名神町3-7-18 TEL06-6429-3541

事業内容/避雷器など雷対策製品の開発・製造・販売、雷対策コンサルティング、電気工事など

カムバックひょうごセンターのご紹介

Facebookで情報を発信中!

東京と神戸のセンターの活動状況や移住・定住に関するイベント情報などをリアルタイムで掲載しています。

<https://www.facebook.com/comebackhyogo/>



☑ カムバックひょうごセンター(神戸)



平成29年2月に神戸クリスタルタワーにオープンし、関西圏を中心とした西日本在住の方からの移住相談を受け付けています。県内各地の市町や移住支援団体と協力し、一人ひとりと向き合う個別相談会も開催しています。

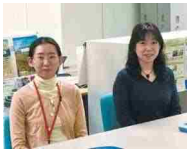
また、タワー内には「ひょうご住まいサポートセンター」や「ひょうご・しごと情報広場」もあり、移住の総合的な相談ができます。

開所日時＝月曜～金曜10時～18時30分、土曜10時～17時30分

神戸市中央区東川崎町1-1-3神戸クリスタルタワー6階

☎078-360-9971 ☎078-360-0071

相談員からのメッセージ



左:堀本 相談員  
右:佐野 相談員

幅広い世代の方からお問い合わせがあります。相談の内容も「安心して子育てできる環境を」「第二の人生は理想の場所で」「夢をかなえるための場所探し」などさまざまです。

最初によく受けるのは「仕事」や「住まい」のご相談です。「仕事」については、同じビル

で専任の相談員がアドバイスします。「住まい」については、空き家バンクや県営住宅のお試し居住などもあります。各地域の移住体験ツアーなどの情報もあわせて案内しています。移住について漠然と考えはじめたという方にも丁寧に説明しますので、お気軽にご相談ください。



☑ カムバックひょうご東京センター



首都圏在住者の兵庫県へのUターン相談に対応するため、平成28年1月にオープンしました。

専門の移住相談員を配置し、移住相談や兵庫県内各市町の相談窓口への取り次ぎ、首都圏で開催される移住イベントへの出展はもちろん、就職・就農イベントや大学での出張相談も行っています。

開所日時＝火曜、水曜、金曜10時～18時30分、土曜10時～17時30分

東京都千代田区大手町2-6-2日本ビル3階

☎03-6262-5995 ☎03-6262-2730

相談員からのメッセージ



左:百田 相談員  
右:清水 相談員

「地元に戻りたい」というUターン相談はもちろん、兵庫県出身でない方が情緒あふれる田舎暮らしに憧れたり、おしゃれで洗練されたイメージの都市部へ移住を希望されたりと、多彩な魅力のある兵庫県は幅広い層に人気があります。

中でも一番多いのは、「仕事があれば移

住したい」というご相談です。「農業がしたい」「温泉旅館で働きたい」「地場産業に携わりたい」など、兵庫の魅力的な仕事に興味を持って来所される方もいらっしゃいます。

「兵庫に戻りたい」「兵庫で仕事をしたい」とお考えの方は、ぜひ一度、気軽に当センターにお立ち寄りください。



東京センターに併設 カムバックひょうごハローワーク

兵庫県にUターン就職したい方のための相談カウンターとして、平成29年4月、カムバックひょうご東京センターに仲間入りしました。県内を各市町に分けて求人検索できるので、効率良く仕事を見つけられます。応募したい企業が見つければ、

その場で紹介状も発行します。新卒・既卒、年齢、就職・転職を問わず、専属の相談員が希望に沿った仕事を一緒に探しますので、気軽にお越しください。

☎03-6262-6886(開所日時は東京センターと同じ)

三木市 ▶ 東京都 ▶ 兵庫県

Uターンします! /

## “自分の育った県に尽くしたい” という思いから Uターンすることに決めました



**藤原 莞大さん**  
三木市出身。高校までを市内で過ごし、18歳の時、日本大学文理学部への進学を機に上京。平成30年4月にUターンし、兵庫県庁に入庁予定。

**Q** 東京の大学を選んだ理由を教えてください。

**A** 一番の理由は、東京にはいろいろな場所からさまざまな人が集まっている点に魅力を感じたことです。そんな所で学生生活を過ごしたら、何か自分に変化が訪れるのではと思ひ、関東の大学に絞って受験しました。友達は関西に残る人が多く、東京に進学したのは少数派でしたね。両親は「自分の好きなことをしたらいい」と寛容で、「あなたが関東で勉強したいなら頑張りなさい」と特に反対することもなく送り出してくれました。二人には本当に感謝しています。

**Q** 進学先選びの決め手は何でしたか。

**A** 歴史が好きだったので、史学科のある日本大学を第一志望にしました。所属している文理学部はその名前が示すように、文学部の科目もあれば理系の科目もある学部です。同じキャンパスには社会学部や社会福祉

学部など社会系の学部も充実しているので、文学部、理学部、社会系学部と分野を横断していろいろと学べるところも自分にプラスになるかなと思いました。実際、学部間の垣根は低く、史学科でも歴史だけを学べばOKではなく、研究には科学的なことも必要だったりします。

**Q** 就職先に兵庫県庁を選んだ理由を教えてください。

**A** 就職活動を始めた頃は何をやりたいのか、まだ具体的な形になっていなかったのですが、兵庫県内で働きたいとは考えていました。公務員志望の友人が多く、その話を聞いていると、ふるさとに対して何か地道にできる仕事なのではと強く感じ、性格的にも合うのではないかと思うようになり、公務員を志しました。その中で兵庫県庁を選んだのは、「どうせなら大きいことをやってみたい」という思いがあり、県全体を見渡せるところに魅力を感じました。そして、自分の育った県に

尽くしたいという思いから、Uターンすることを決めました。

**Q** やってみたい仕事はありますか。

**A** 地域創生や防災関係の分野に興味があります。また、陸上競技をずっとやってきたので、陸上を通して多くの人にスポーツに触れてほしいという思いがあり、スポーツ振興のようなこともやってみたいですね。

**Q** 兵庫県内でお気に入りの場所を教えてください。

**A** 子どもの頃によく遊びに行ったり、高校時代に陸上部の部活動で走ったりした地元の三木ホースランドパークですね。気軽に馬と触れ合える施設はあまりないと思うのですが、ここではサラブレッドの馬が居るきゆう舎を自由に見学でき、乗馬体験やホーストレッキングなどもあります。家族で楽しめるいい所だと思うのでお薦めです。

### 移住サポート情報

詳しくはカムバックひょうごセンターにお問い合わせください

#### 兵庫県内お試し移住ツアーを開催

県内の企業を巡る東京発のUターン就職応援ツアーや、地場産業や日本遺産などのスポットを巡る魅力体感ツアーを開催します。また、県の地方機関(県民局・県民センター)や各市町でも各種のお試し移住ツアーを開催しています。

#### 仕事探しをサポート

カムバックひょうごハローワークでの就労相談や県外でのUターン合同企業説明会などを通じて、兵庫で就職を目指す方と魅力的な県内企業との出会いの場を提供しています。また、若者しごと倶楽部(ジョブカフェひょうご)では、自己分析から面接練習まで、キャリアマネージャーが就職活動を応援します。

#### 県営住宅の入居資格を緩和/空き家活用に助成金

県外在住で夫婦の合計年齢が80歳未満の若年世帯、もしくは親世帯と県外在住の子孫世帯が新たに入居できるように県営住宅の入居資格を緩和しています。県外から兵庫県内への定住希望者に対し、入居期間が1~2年の「お試し居住」制度もあります。また、一戸建ての空き家を住宅や事業所、地域交流拠点として活用しようとする人に対し、改修費用を助成しています。

#### 農林水産業への新規参入を応援

ひょうご就農支援センターでは、就農希望者や農業経営の規模拡大を目指す方など、対象者に応じた幅広い研修を行っています。県立森林大学校では森林経営の即戦力となる人材を育成しています。また、農業・畜産業、林業、漁業に必要な施設や設備を貸し出し、新規に始めようとする人の初期投資を軽減しています。